

栄光か悲惨か——
おもしろさ無類、究極のノンフィクション!

世界探検全集

Global Explorations : The Collected Works

〈全16巻〉

監修：井上靖・梅棹忠夫・前嶋信次・森本哲郎

ここには未来永劫、
語り継ぐべき物語がある

探検家・作家

角幡唯介氏、推薦!

名著復刊!
入手困難作品を
多数収録!!

2022年9月より刊行開始!!

第一回配本

① 東方見聞録
マルコ・ポーロ 青木富太郎 訳

⑩ 世界最悪の旅
チェリー＝ガラード 加納一郎 訳

発売記念価格 本体各 1,980円 (税込 2,178円)

全巻予約特典

全巻ご予約の方には現代の探検家が描く別巻『いま、探検を問う(仮)』(非売品)を進呈いたします。

※お申込み締切：2023年3月31日
(完結時に購入書店様経由でご送付予定)

河出書房新社

その先にある向こう側へ——

激動の時代に生きる私たちに勇気を与え
好奇心を呼び覚ます圧巻の16冊!

▲ 稀代の知性が編んだ傑作全集を完全復刊

井上靖・梅棹忠夫・森本哲郎・前嶋信次ら稀代の知性が監修した全集を、内容的な変更なく全巻まるごと復刊します(初版1976年)。

▲ 人類史上に残る不朽の探検を厳選

近世の夜明けから、語り継がれる重要な探検を厳選。現在、入手困難な作品も多数収録しています。

▲ 一級のノンフィクション、価値ある文学作品

全編、世界各国の探検家が生死を賭けて記録した究極のノンフィクション。平易で闊達な文章で訳された作品は、時代を越える文学としても価値の高いものです。

▲ 魅力ある“ナビゲーション”を全巻に増補

復刊にあたり、各巻に識者による「巻頭解説＝ナビゲーション」を書き下ろしで増補します。どのように読んだらよいか、どこが魅力なのか……いま、第一線で活躍する識者たちによって、全集に現代的な意義が与えられます。

ナビゲーター例：

荻田泰永(北極冒険家)、角幡唯介(探検家・作家)、木村由莉(古生物学者)、関野吉晴(探検家・人類学者)、高野秀行(ノンフィクション作家)、中村安希(ノンフィクション作家)、山極寿一(人類学者)、四方田犬彦(比較文学者)など

▲ 装幀・組版を一新し、読みやすさを追求

クラフト紙に描き下ろしのイラストを配した、現代性と普遍性を兼ね備えたカバーデザインです。本文組版は文字の大きさや書体に工夫をこらし、読みやすさを追求しました。

▲ 写真・イラストの巻頭口絵を刷新

巻頭の口絵で、作品世界を補完する写真やイラストなどを新たに掲載し、探検の魅力を立体的に伝えます。

体裁 四六判／並製／各巻 250～450頁

価格 各巻 2,178～3,080円(税込)
全巻揃定価 41,866円(税込)

※第1回・第8回配本は2冊同時刊行。ほか、月1冊ずつ刊行。
※2023年11月完結予定。
※全巻予約特典(別巻)は、完結時に購入書店様経由でご送付予定。
お申込み締切：2023年3月31日



河出書房新社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-32-2 TEL. 03-3404-1201 FAX. 03-3404-0338 <https://www.kawade.co.jp/>

2022年9月より刊行開始 [分売可・各巻払い]

全巻揃定価 41,866円(税込)

世界探検全集 [全16巻] 全巻セット申し込みます

第1巻 東方見聞録	マルコ・ポーロ 青木富太郎 訳	2,178円(税込) ISBN 978-4-309-71181-2	冊
第10巻 世界最悪の旅	チェリー＝ガラード 加納一郎 訳	2,178円(税込) ISBN 978-4-309-71190-4	冊

ご住所

お名前

お電話番号

お申し込み書

河出書房新社特約店

セット

お申し込み日 年 月 日 ご担当 様

戦争や感染症の拡大で、これまでのような旅や移動が困難になり、未来が見通しづらくなった現在——
しかし私たちは、人類史に残る探検の記録から、移動することの根源的な喜びを、
異なる人々や異なる文化と触れ合う喜びを、そして閉塞した世界に立ち向かう勇気を学ぶことができる。

世界探検全集 全16巻

1 東方見聞録

マルコ・ポーロ 青木富太郎 訳

2 三大陸周遊記

イブン・バットウータ 前嶋信次 訳

3 アジア放浪記

ピント 江上波夫 訳

4 カムチャツカから
アメリカへの旅

シユテラー 加藤九祚 訳

5 ニジエール探検行

マング・パーク 森本哲郎・廣瀬裕子 訳

6 アマゾン探検記

ハインドン 泉靖 訳

7 天山紀行

セミーノフ 樹下節 訳

8 アフリカ探検記

リヴィングストン 菅原清治 訳

9 黄河源流からロプ湖へ

プルジエワルスキー 加藤九祚 訳

10 世界最悪の旅

チエリー＝ガラード 加納 郎 訳

11 恐竜探検記

アンドリュース 斎藤常正 監訳 加藤順 訳

12 ゴビ砂漠探検記

ヘーデン 梅棹忠夫 訳

13 中央アジア自動車横断

ルーフエーヴル 野沢 協 宮前勝利 訳

14 コン・ティキ号探検記

ヘイエルダール 水口志計夫 訳

15 エベレスト登頂

ハント 田辺主計・望月達夫 訳

16 石器時代への旅

ハーラー 近藤等・植田重雄 訳

別巻 全巻予約特典
いま、探検を問う(仮)

アジア各地の16年に及ぶ見聞を克明に記し西洋人に東洋への眼を開かせた旅行記の古典。日本が「ジバング」として登場。足掛け29年にわたってモロッコから西アジア・インドを経て中国までの長途を行脚。14世紀における三大陸の諸情勢を写した紀行文学の白眉。

20年間中国・日本・インドなどアジア各地を放浪、その間5回難破し、13回奴隷となり、16回売られた。男の奇想天外な体験と見聞を綴った幻の書。

オホーツクから北米カヤク島への初の学術探検航海に成功した、第二次ベリング探検隊員が綴った貴重な記録。「カムチャツカ」の住民を併録。

酷暑の西アフリカ奥地を踏査——原住民への限らない同情をもちながら、ついに原住民の襲撃により落命した悲劇の探検家の手記。

6200キロに及ぶアマゾンの流域をくまなく踏査、原住民の風俗や習慣、各地の産物や交易品の数々を紹介した臨場感溢れる探検記の名著。

中央アジアと内陸アジアを分かつ「謎の天山」を初の地理学的方法で踏査。探検史上に新時代を画した名著！

猛獣や風土病と闘いながら、通算48000キロにおよぶ広大な地域を踏査し、探検史上に不朽の業績を残したリヴィングストンの波瀾万丈の探検記！

ゴビ砂漠を縦断し、ロプ湖からタクラマカン砂漠を経て天山山脈までを踏査、その計画性と科学性によって学術探検の基礎を築いた不朽の探検記。

連日マイナス60度を越す極寒の地でひたすら南極点をめざした悲劇のスコット隊の一員が綴った凄絶・迫真のノンフィクション！

酷寒、酷暑のゴビ砂漠で、世界初の恐竜卵の化石発見に成功。生物進化の歴史解明に大きく貢献した探検隊の労苦と感動を伝える名著！

東西の文明をつないだシルク・ロードを縦横に踏査し、中央アジアの探検史に不朽の足跡を残したヘーデンの名著を名訳の誉れ高い梅棹訳でおくる。

無限軌道車によるベイルート-北京間の走破に成功！内乱で緊迫する中国奥地の表情を真の筆緻で描き、シトロエン隊の名を高めた名著の名訳。

ポリネシア人のルーツを解明すべく、筏を操ってペルーからタヒチまでの漂流を敢行。謎多い太平洋民族の研究に貴重な一石を投じた古典的名著。

登山家の夢であったエベレスト。初登頂の偉業を達成したイギリス隊の隊長が、息づまる筆緻で刻々と迫る世紀の瞬間を伝える感動の名著！

最後の秘境ニューギニアの奥地で、裸族たちとの接触に成功。石斧製作の秘密をつぶさに観察して人類学上に貴重な貢献をした探検の記録。

◆『世界探検全集』復刊に寄せて



探検家・作家

角幡唯介

大海原のはるか彼方にかぶ孤島を目にしたとき、あそこに行ってみたくて思ったことはないだろうか。あるいは天を衝く山頂を前に胸を躍らせたことはないだろうか。

ここではない、その先にある向こう側……。その存在を知ったとき、私たちの胸の内側には、こうした、いわく言いがたい探求心や好奇心がわきあがる。まだ科学的に解明されていない人体の奥底の闇の部分から、未知への不可思議な衝動はたちのぼる。すべての探検家や冒険家は、この衝動を抑えることができず、それにのみこまれ、一線を越えて行動に踏みだしてきた者たちだ。

旅と探検は人間の生の根源であり、人類はアフリカで誕生して以来、知られざる土地に広がり、そこで新たな生活をつくりあげてきた。向こう側にある世界を見てみたいという衝動それ自体は、時代を超越しており、人類に普遍的行動原理なのである。今回復刊された世界探検全集は人類史に記述される古典的探検記を集めたものだ。それだけに境界の先に向かわずいられない人間の行動のエッセンスが凝縮されており、時代によって色褪せない文学となっている。

新しい未来は非日常との触れあいからしか生まれない。だから、ここには未来永劫、語り継ぐべき物語がある。旅をして、これまで知られていなかった異世界がまだ眠っていることに驚くこと。そして自分とは異なる人々と肌身で触れあうこと。それこそが世界をよりよく知るための唯一の方法であり、知の永遠の原理である。

角幡唯介(かくはた・ゆうすけ)

早稲田大学政治経済学部卒、同大学探検部OB。元朝日新聞記者。著書に『空白の五マイル』(開高健ノンフィクション賞、大宅壮一ノンフィクション賞、梅棹忠夫・山と探検文学賞)、『極夜行』(Yapooニース本屋大賞2018年ノンフィクション本大賞、大佛次郎賞)など多数。(写真撮影：竹沢つるま)

現代の第一人者たちによる「ナビゲーション」(巻頭解説)を全巻に増補!

本全集を、どのように読んだらよいか、どこが魅力なのか……いま、第線で活躍する識者たちに縦横無尽に語っていただきます。

四方田犬彦(比較文学者)

(巻数順)

高野秀行(ノンフィクション作家)

角幡唯介(探検家・作家)

中村安希(ノンフィクション作家)

関野吉晴(探検家・人類学者)

山極寿一(人類学者)

荻田泰永(北極冒険家)

木村由莉(古生物学者)

『全巻予約特典別巻』

現代日本を代表する探検家たちによる鼎談

『いま、探検を問う(仮)』内容



試し読み

『世界最悪の旅』の冒頭部分をお読みいただけます!